

## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
<p>認 可 時</p> <p>(平成20年1月25日)</p>	<p>1. 設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術の理論及び応用を教授研究するという大学院の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。</p>	<p>平成20年4月の主な活動をあげると次のとおりである。</p> <p>(1)履修ガイダンスおよび履修指導の実施</p> <p>4月16日(水)の履修ガイダンスで、各授業科目の説明を行った。履修指導は全専任教員が参加し、院生が組んだ履修計画・時間割について、個々にアドバイスをする等のきめ細やかな対応をした。</p>	<p>(1)授業見学の実施 開講後、研究科長と大学院教務委員が全授業科目を視察し、一定の評価を行い、その結果は各教員に伝達し、教育方法の改善に役立てていただく予定である。</p> <p>(2)授業評価の実施 前期・後期ともに、授業開始初期と終了期にアンケートを実施し、授業だけでなく、教務・施設・設備などについても院生の率直な意見を聞くものである。この結果を取りまとめたうえで、院生との意見交換会を開催する予定である。</p> <p>(3)教員相互の授業参観・評価 後期に実施予定である。研究科長、大学院教務委員、専任教員2名が特定の授業科目を交代で視察し、一定の評価を行い、その結果は各教員に伝達し、教育方法の改善に役立てていただく予定である。</p>
	<p>「健康支援学」の概念として提示されたものは「保健学」の概念であるので、学位に付記する専攻分野の名称は「保健学」に改めること。</p>	<p>上記の履修ガイダンスにおいて、研究科長から本研究科が目指す「健康支援学」の概念について、「保健学」の概念との関係に触れながら説明し、学位に付記する専攻分野の名称は「保健学」であることを説明した。</p>	
<p>設置計画履行状況 調 査 時</p> <p>(平成20年4月20日)</p>			